

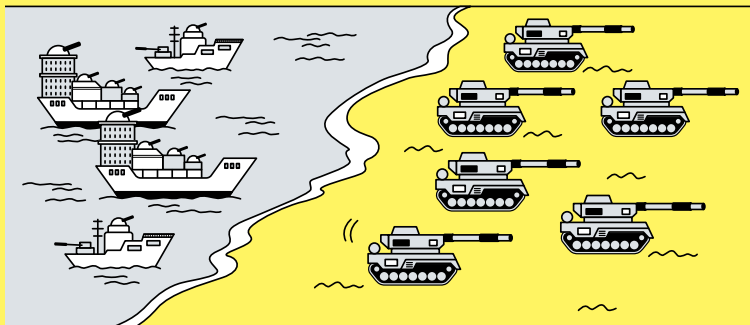
事態別の対処方法

国民保護の対象として想定されている事態における対処方法は次のとおりです。万一の場合に備え、知っておいてください。

武力攻撃事態

着上陸侵攻

着上陸侵攻は、沿岸部が侵攻目標になりやすく、国民保護措置を実施すべき地域が広範囲で、比較的長期に及ぶこともあります。



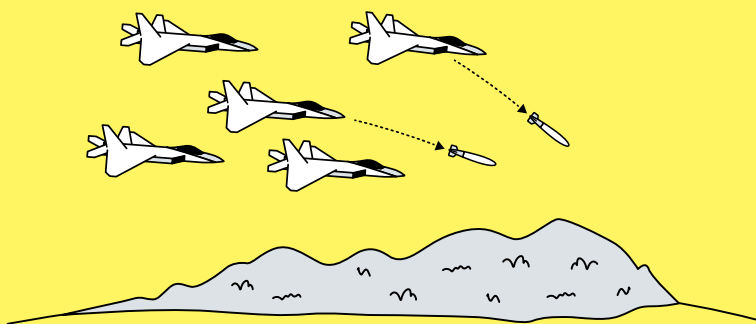
対 処 方 法

- 攻撃が予測された時点においてあらかじめ避難すること
も予想されます。
- 避難が必要な地域が広範囲にわたり遠方への避難が必
要となるとともに、避難の期間が長期になることも予想さ
れます。避難の経路や手段などについて行政機関からの
指示に従い適切に避難しましょう。

航空攻撃による攻撃

兆候を察知することはできますが、攻撃目標を特定することは困難です。

都市部の施設やライフライン等に影響を与える重要な施設が目標となることも想定されます。



対処方法

- 攻撃の目標値を特定せずに、屋内への避難が広範囲にわたって指示されることが考えられます。屋内への避難にあたっては、近隣の丈夫な建物や地下街などに避難しましょう。その後、状況に応じ行政機関からの指示に従い適切に避難しましょう。

ゲリラや特殊部隊による攻撃

狭い範囲で突発的に被害が発生することが考えられます。攻撃目標が重要な施設の場合は、大きな被害を生じるおそれがあります。また、ゲリラ側が核・生物・化学兵器や放射性物質を散布することにより放射能汚染を引き起こします。

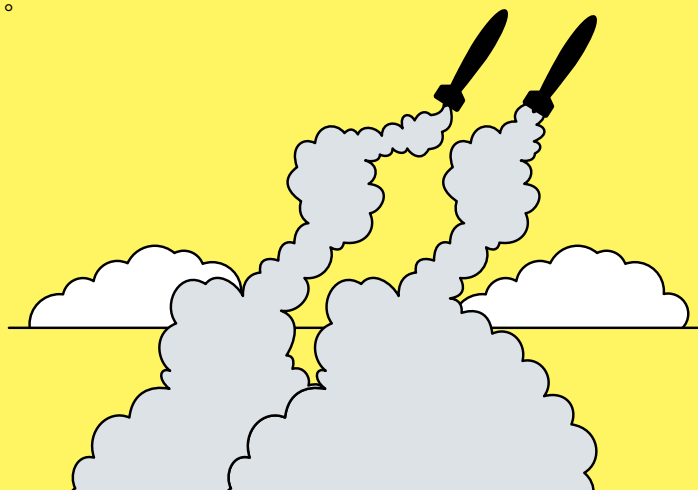


対処 方法

- 突発的に被害が発生することが考えられるため、攻撃当初は一旦屋内に避難しましょう。その後、状況に応じて行政機関からの指示に従い適切に避難しましょう。

弾道ミサイルによる攻撃

攻撃目標の特定が極めて困難で、短時間での着弾が予想されま
す。弾頭の種類(通常弾頭か核・生物・化学弾頭)を着弾前に特定する
のが困難であり、弾頭の種類に応じて、被害の状況や対応が異なりま
す。

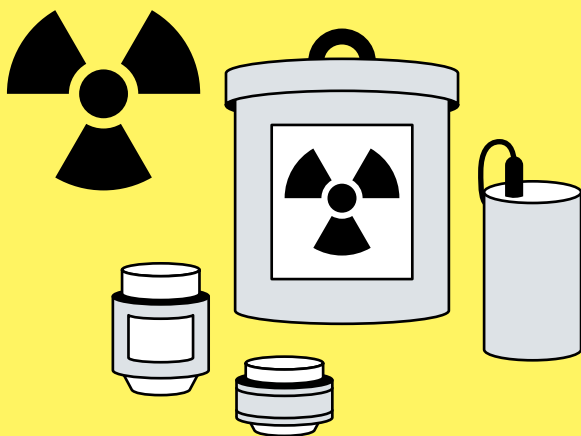


対処 方法

- 攻撃当初は屋内に避難し、その後状況に応じて行政機関からの指示に従い適切に避難しましょう。
- 屋内に避難するときは、なるべく堅牢な建物や地下街などに避難しましょう。

化学剤・生物剤・核物質による攻撃

武力攻撃やテロの手段として化学剤（神経剤、びらん剤、血液剤、窒息剤）、生物剤（細菌やウイルス、動植物の毒素）、核物質（放射能汚染など）が用いられた場合には、人体の機能障害を発生させるため、被害に対する特別な対応が必要となることから、テレビやラジオなどを通じて、情報収集に努めるとともに、行政機関からの指示に従って行動することが重要です。



対処方法

- 屋外にいる場合は、口と鼻をハンカチなどで覆いながら、その場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内の部屋または屋上の高台などに避難しましょう。
- 屋内にいる場合は、窓を閉め、目張りによる室内を密閉し、できるだけ窓のない中央の間に移動しましょう。
- 2階建て以上の建物であれば、なるべく上の階へ移動しましょう。
- 屋外から屋内に戻ってきた場合は、汚染物を体から取り除くため、衣服を抜いでビニール袋や容器に入れて密封しましょう。その後、水と石けんで手、顔、身体をよく洗いましょう。
- 安全が確認できるまでは、汚染された疑いのある水や食物の摂取は避けましょう。
- 被ばくや汚染の恐れがあるため、行政機関の指示などに従い、医師の診断を受けましょう。

